

アメリカで伊能大図写 206 枚を発見

1. はじめに

江戸末期の測量家・伊能忠敬が制作した日本地図（略称・伊能図最終本）は、大図 214 枚、中図 8 枚、小図 3 枚からなっている。中図 8 枚と小図 3 枚は国内に写しが伝存することを確認しているが、大図写しは国内各地を合わせて約 60 枚の現存が知られているのみで、ほとんど滅失したと考えられてきた。

このほど、伊能忠敬研究会代表理事・渡辺一郎の現地探索により、米国の議会図書館地図部が多量の伊能大図写しを所蔵することがわかったので、日本国際地図学会、伊能忠敬研究会、(財) 日本地図センターの 3 者で共同して調査をおこない、伊能大図写し 206 枚の所在を確認した。

調査期間 2001 年 6 月 18 日～6 月 22 日

調査員 渡辺 一郎（日本国際地図学会会員・伊能忠敬研究会代表理事）

鈴木 純子（日本国際地図学会常任委員・相模女子大学講師）

永井 信夫（日本国際地図学会会員・(財) 日本地図センター理事）

2. 米国国会図書館蔵伊能大図写の概要

(1) 今回発見された 206 枚の内訳

今回発見された伊能大図写しを大図一覧図上に表示すると図 1 のとおりであり、国内に現存する大図写しは図 2 のとおりである。今回の大図写しは、伊能図の最も精細な部分である大図の内容を、ほぼ全国的に示すもので、近代測量の始祖である伊能忠敬の業績と伊能測量の全容解明に大きく寄与するものと考えられる。206 枚の一覧表を別紙に示した。また、内容を分類すると以下のとおりである。

(2) 山岳、田畑、原野に未着色なもの 168 枚

米国で発見された伊能大図写しは、測量線、地名、海岸、水路、領主名などを忠実に描いているが、169 枚の図においては、山岳、丘陵、田地、集落など沿道風景の絵画的部分が未完成である。沿道風景には着色がないが、これまで知られなかった名古屋、福岡、岡山、広島など人口稠密な地域を含め、測量線がしっかり描かれており、お城、社寺、塔などは着色して鮮明かつ美麗である。

(3) 沿道風景に着色するもの 38 枚

風景部分すべてに着色しているのは、北海道のほぼ全部 32 枚と、三河遠江 No.111、紀伊半島の No.132、No.140、No.139、と大坂の No.135 および神戸 No.137 である。

概して淡彩であるが、着色は国内の現存図と合致している。

(4) 欠 図

欠図は、No.12, No.34, No.35, No.107, No.133, No.157, No.164, No.173 の 8 枚で、No.168 は重複している。重複図は作業用に記入があり、図上が汚れたので再制作されものではないか。

(5) 製作者、写図の目的など

着色図には、第七軍管、第一軍管、第三軍管と朱書の肩書きがあり、また、全図の測線部分に各種サイズの鉛筆方眼が残っていることなどから、明治初年の陸軍測量機関が実用のために模写したものと推測される。また、他の収集品のなかには本図を使った編集図も見られる（対応する本図には編集範囲に赤線が引かれている）。

(6) 米国に流出の経緯

不明である。来歴について、米国議会図書館（Library of Congress）の地図部長エベール博士は「本図の入庫記録はなく、地図部ができた 1897 年にはすでにあったと推測される（それ以後のものは入庫記録があるので）」と語っている。「戦後の混乱期の入庫でないことは確かで、もし戦後であれば必ず入庫記録が残っている」ともいう。

3. 本図発見の効果

(1) 伊能忠敬の業績である伊能図の全貌がほぼ明らかになった。

(2) 測量経路など忠敬の足跡を確定することができる。

(3) 伊能大図と測量日記を対照することにより、忠敬の行動が理解しやすくなる。

(4) 結果として、全国各地において忠敬に関する身近な事績調査が容易となる。

4. 今後への期待

今後の展開については、沿道風景に着色した部分はすべて、これまで不明だった地域であり、それだけで展示価値が充分考えられる。しかるべき機関と協力して一般公開できるよう努力したい。

未着色部分は、できれば原寸大に複製して着色し、既着色部分を合わせ、全てを接続して展示できれば、一般の方々に伊能忠敬の業績の素晴らしさを再認識いただけるものと考えている。協力者を求めます。

問い合わせ先

162-0822

新宿区下宮比町 2-28-618

伊能忠敬研究会 代表理事

渡辺 一郎

Tel& Fax 03-3268-9228

図1 米国で発見された伊能大図

最終版伊能大図・中図・小図接合表

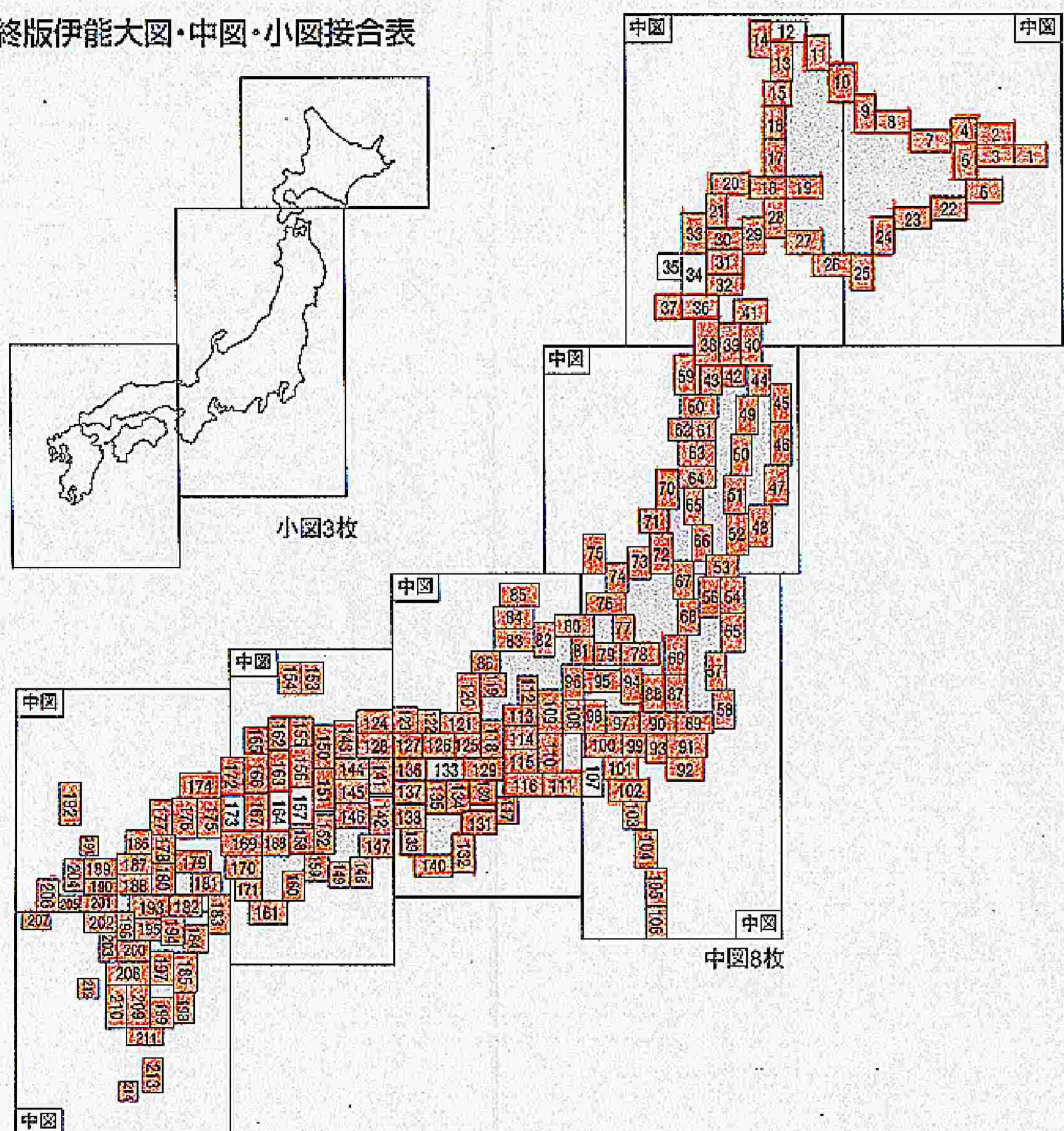


図2 国内に現存する伊能大図

最終版伊能大図・中図・小図接合表

